

地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

No	交付対象事業の名称	実績額 (うち交付金) 単位:円	実施事業	市の総合戦略における 重要業績評価指標(KPI)		評価	実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	実績値		方針	今後の方針の理由
1	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト	577,828 (288,914)	<p>○体験交流バスツアー 例年、文京区民対象体験交流バスツアーと移住ツアーを各2回実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。(移住ツアーに関しては、一部オンラインでの開催を実施。)</p> <p>○移住促進冊子作成経費 移住促進を目的として、石岡市の紹介冊子を作成。作成部数は1,000部。</p> <p>○移住相談セミナー参加負担金 令和3年10月「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア2021autumn」に参加。</p>	<p>【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる</p> <p>観光入込客数 175万人 (R6)</p> <p>移住者数 500人 (R2~R6累計)</p>	59.9 万人 199人 (R2~R3 累計)	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	事業内容の見直し(改善)	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、例年実施していた東京都文京区や移住者向けのツアーが開催できない状況が続いている。</p> <p>しかし一方で、これまで都内で開催されていた移住相談会に出展したほか、令和3年度新たに作成した移住冊子では、閲覧者がリアルな移住のイメージを描けるよう、実際に石岡市への移住を実現した先輩移住者や、市内子育て世代へのインタビュー、住まい事情等を掲載する工夫を行い、当市の認知度の向上や移住希望者への積極的な働きかけを行うことができた。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据え、様々な移住促進手法を検討し、新たな「関係人口」の創出や新しい生活様式に合わせた事業展開ができるよう努めていく必要があると思われる。</p>
2	ビジット茨城・DX誘客促進事業	13,681,450 (6,840,725)	<p>○観光施設インバウンド動作作成 海外からの観光客に向けて、市内観光施設等のPR動画を作成し、HPやYouTube等により情報発信を実施。</p> <p>○デジタルスタンプラリー実施 スマートフォンを用いた市内観光施設等を周遊するスタンプラリーを実施。観光客の回遊性を促進し、本市の魅力発信と認知度向上を図った。</p> <p>○多言語対応スタッフの配置 観光案内所に多言語に対応可能なスタッフを2名雇用し、インバウンドに対する観光案内等の充実を図った。</p>	<p>【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる</p> <p>観光入込客数 175万人 (R6)</p> <p>海外向け情報発信でのPR回数 3回 (R6)</p> <p>インバウンドファームツアーの参加者数 75人 (R2~R6累計)</p>	59.9 万人 1回 0人 (中止)	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	事業内容の見直し(改善)	<p>国内からの観光客のみならず、海外からの観光客の受け入れ態勢の強化を図るため、海外へ向けた、石岡市のPR動画を作成するとともに、昨年度に引き続き、石岡市の玄関口である石岡駅の観光案内所に多言語対応スタッフを配置した。しかし、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの入国規制や、市内イベント等の中止及び延期等もあった。</p> <p>令和4年度以降のアフターコロナを見据えて、観光客の受け入れ態勢の強化を継続しつつ、積極的なPRを行うとともに、石岡市の観光拠点の更なる磨き上げを図ることで、石岡市の魅力を活かした新しい人の流れの創出に取り組む。</p>
3	わくわく茨城生活実現事業	610,000 (457,500)	<p>○制度の周知と申請受付 移住支援金の周知や申請受付を実施。 移住支援金対象企業の募集 ・市内企業の登録数：3社 ・勤務地に石岡市が含まれる企業：1社 移住支援金申請者 (R3: 1件)</p>	<p>【基本目標2】 市の魅力を活かした新しい人の流れをつくる</p> <p>移住者数 500人 (R2~R6累計)</p>	199人 (R2~R3 累計)	総合戦略のKPI達成に向けて有効であった	事業内容の見直し(改善)	<p>令和元年度の制度創設以来、周知と申請の受付を行っている。 令和2年度には、申請の間口を広げるため、対象者の要件拡充(テレワーク移住、プロフェッショナル人材、関係人口を支給対象に追加)を行った結果、令和3年度には、1名の移住支援金申請者あり。</p> <p>移住に関する相談やPRを積極的に行うことで、対象者が適切に支援金を活用できるよう努めていく。</p>

【地方創生推進交付金について】

1 地方創生推進交付金概要

地方版総合戦略(石岡市：まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略)に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施に要する経費を交付対象としている。現在計画期間中である、3つの地域再生計画(つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト/ビジット茨城・DX誘客促進事業計画/わくわく茨城生活実現事業)について、地方創生推進交付金の対象事業となっている。

2 つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクトについて

事業主体：茨城県および連携市町村(茨城県、日立市、石岡市、結城市、笠間市など、計17)
事業内容：東京圏からの「関係人口」を呼び込む取組を推進するにあたり、その受け皿となる地域の住民や企業等、地域資源等の掘り起こし発掘や見える化に取り組むとともに、「関係人口」に対して、地域と多様に関わる機会を提供する。また、市独自の総合支援h施策や中間支援プラットフォームの事業と連携し、「関係人口が本県内で「しごと」を創出し、定着することを支援する。

3 ビジット茨城・DX誘客促進事業について

事業主体：茨城県および石岡市
事業内容：DX推進による新しい観光需要及び価値を創出する。①旅のデジタル化の推進 ②DXの推進によるFIT(個人旅行者)向け観光サービスデジタルプラットフォームの構築 ③新たなコンテンツの創出及びスポーツツーリズムの推進

4 わくわく茨城生活実現事業について

事業主体：茨城県および連携市町村(茨城県、水戸市、日立市、土浦市、石岡市など、計39)
事業内容：移住やUIJターンに伴う経済的負担を軽減するため、一定の要件を満たす移住者へ移住支援金を支給するとともに、就職情報の不足によるミスマッチの解消を図るため、マッチングサイトや求人広告セミナー等によりマッチングを支援する。